

●とびつくす●

新年のご挨拶

会長 坂口 敏司

新年明けましておめでとうございます。本年も、宜しくお願い致します。

会員の皆様に於かれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこと心よりお慶び申し上げます。

昨年、一昨年からのコロナウイルスによる影響から、建築士会においても、建築士会全国大会広島大会が広島開催から会場を東京に移し、WEB配信を中心とした大会となりました。連合会のHPから現在も見ることができます。また、中四国青年・女性建築士のつどいの中止、県内においても、一昨年同様に総会の縮小及び懇親会の取り止めと影響がありました。秋口からは、コロナ感染者も減り行事が開催できるようになり、国土交通大臣表彰者等の祝賀会は、規模を縮小し、コロナ対策を取り、令和3年度、4年度の表彰者を招き開催しました。このまま本年は、様々な行事等が開催できることを祈るばかりです。

徳島県建築士会が周年事業として、牟岐町出羽島にまちづくりハウスの開設を目指し整備していた重伝建地区内の伝統的民家の修理が完成しました。今後は、地域会や研究会などの研修や修理工事に携わる会員のベースキャンプとして活用されることを期待します。この建物は、湾に面して建ち2階からの眺望が良い立地にあります。1階3室、2階2室の和室があって、設備はキッチン、シャワー室、洋式便器が設けられ、宿泊もできるようになっています。(食事については飲食店や食料品店は、島内に無いので連絡船に乗る前に調達しておく必要があります。)開設イベントができればと考えていましたが、コロナ禍の中、島の住民の方々は高齢者が多く、病院も無いので見合せこととしました。利用希望の方は、事務局まで問い合わせをお願いします。

建築士会は公益法人で、事業の多くは会員の皆さんの力添えによるものがほとんどです。木造住宅耐震診断

は、一般家庭を会員が訪問し、建物を調査する。子供向けの出前授業は、学校へ会員が出向き建築に関する授業を行うなど、公益事業の多くは、人と人が接する事業です、このような状況の中では大変な手間が掛かったり、思うように実施できなかつたりと思います。オミクロン株の状況が気になるのですが、3回目のワクチン接種も始まることでしょうか、あと少し我慢のしどころかと思えます。皆さんも、お体に気を付けて頂き、コロナの終息を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



●地域会だより●

令和5年青年・女性建築士の集い中四国ブロック徳島大会に向けて

徳島地域会 島津 臣志

突然ですが、令和5年6月に青年・女性建築士の集い中四国ブロック徳島大会が開催されます。新型コロナウイルスの影響で、愛媛大会、山口大会が中止になりましたが、来年の高知大会は今のところ実施される予定で、その次が徳島県大会というわけです。

2014年の徳島大会の時は、青年部徳島支部長をしていましたが、地域実践活動報告をしたのを思い出します。それから7年が経ちました。前回関わった方の大半が青年部を卒業し、世代交代も進んでいる中、昨年10月に実行委員会が立ち上がりました。大会実行委員長の中川孔介氏をはじめ、次のような体制になっています。

実行委員長 中川孔介

大会会場 池辺友香子、井上幸美

web開催 小川宏樹

地域実践活動報告 松尾晶子

講演会・分科会 岩本祥一

懇親会 梶哲也

エクスカッション 竹内祐輔、大岡将友、松田健

連合会 島津臣志

会計 谷紀明

受付 島田めぐみ、高源真由美

ロゴ・サイン・Tシャツ 久保文乃、中村雅彦

広報 廣瀬諭志

ここに書かれている方だけで準備ができるわけではありません。あくまで窓口になっている方です。各担当を横断、連携しながら、これから1年半、大会内容について協議して進めていくことになります。まだ実行委員会も動き始めたばかりで決めていかなければいけないことが山のようにあります。皆さまにもいろいろとご協力をお願いすることがあると思いますがどうぞよろしくお願い致します。さて、これまでの会議の議事録を簡単にとめておきます。

10/28 第1回実行委員会

コロナの感染状況も落ち着いてきていて、顔合わせをしたいのでできるだけ集まりましょうと声をかけたところ、多くの方に出席いただけました。満員になった会議

室を久しぶりに見た気がします。

実行委員会の体制が決まった後は、大会テーマについて議論しました。アフターコロナ、SDGs等、今ならではのキーワードが出てくる中、子育て真っ只中の中川実行委員長から「育」が提案されました。「育」というキーワードからは、子育て、働き方といった建築をつくる上での個人的な背景のこと、アフターコロナの新しい建築のことが展開されそうで、普遍的で時代性を超えた、いいテーマになったと思います。「育」を軸にどういう大会にしていくのか、これからの大きな課題です。

11/28 第2回実行委員会

大会会場をどこにするかが大きな議題でした。前回同様あわぎんホールとするのか、違うところにするのか。そんな中、船上開催という全く想像してなかった提案がありました。予算、船の停泊場所、駐車場、懇親会などあげればキリがないくらい課題が出たので、ひとまず持ち帰ることになりました。この原稿が読まれる頃には、船上開催か否か結論が出ているはずですが、過去2回の実行委員会報告でしたが、大会テーマが決まって動き出したばかりです。青年部一丸となって取り組まないと実現できない大きな事業です。次回の実行委員会は1月27日19時から建設センター5階会議室で行います。できるだけ対面をお願いしたいのですが、難しいようでしたら、ZOOM参加も可能です。皆さまのご参加お待ちしております！よろしくお願い致します！



実行委員会の様子

●あなたが出番●

「私の出番？」

小松島・勝浦地域会 檜原 敏之

あんたが出番ということで、ご指名をいただきました。何を書こうか迷いましたが、今回は2点取り上げさせてもらいます。

まず1点目、小松島の伝統あるオリジナルコンテンツといえば、金長さんをおいて他にはないと固く信じています。金長大明神として中田町脇谷に祀られ、長く人々に敬われ愛されて来た金長狸。古くから民衆の娯楽の王者としてさまざまなメディアに取り上げられて来ました。江戸時代は講談として、戦前は実写映画として、近年は小説や漫画、アニメやゲームにも取り上げられ、小松島の大衆文化としてこんなに幅広く取り上げられ、活躍するヒーローは他にないと断言します。

その金長さんをお祀りしてる金長神社が、一時期存亡の危機に立たされました。金長神社を含む一帯が都市公園の再整備計画の中に含まれて、公共の公園施設に宗教施設として残すのはいかなものかと、問題視されました。私は歴史ある文化遺産としても、また貴重な観光資源としてもこれは残すべきだと考え、小松島市の公園整備計画の説明会に知人を誘って駆けつけました。説明会の資料には、金長神社の姿はなくのっぺりした駐車場になっていました。これはいかなることかと問いましたが、神社はモニュメントか記念館に変えて整備したいとのことでした。

これはいかん！と、なんとか残す方向に持っていかないと後世に悔いを残すと焦りました。ネットで連携を取りながら、金長さんを守る会を立ち上げ、呼ばれたかどうかはわかりませんが、「あんたが出番！」と勝手に思い込み役員を引き受けることにしました。以後、署名活動、市民への広報活動、山口敏太郎講演会、平成狸合戦ぽんぽこ上映会、特別絵馬や御朱印配布、例大祭などを行い、皆さんに関心を持ってもらおう、神社に来てもらおうと、さまざまな活動を行いました。また、公園計画の専門家検討会議に委員として出席し意見も述べました。金長さんを守ろうというみなさんの熱意が実って、今、金長神社は現地に残す方向で計画は進んでいます。士会の会員でもある中山市長のご英断が、何よりありがたかったです。任意団体として立ち上がった金長さんを守る会も、これからの活動を見据えて、一般社団法人金長と狸文化伝承の会へと役割をバトンタッチしました。

しかし、これでめでたしめでたしとはならず、老朽化した拝殿の大規模改修を行うために寄付金を集めたり、運営母体をしっかりとしたものにするために、さらに多くの会員を募集したり、若い人たちにこの文化の伝承をどうやって行くのか知恵を絞ったりと、行手にはまだま

だ大きな山が控えています。少しでも前に進んでいくために、手を取り合って頑張りたいと思います。みなさんの温かいご支援をよろしくお願いします。一般社団法人金長と狸文化伝承の会のホームページ

<https://kinchotanuki.jimdofree.com/>

で、もうひとつは、今、若い衆らとNPOを立ち上げようとしています。アートで街をデザインしようという団体です。イメージはこんな感じ。

地方移住	まちづくり
＼	／
	アート
／	＼
芸術家支援	教育

まず初めに、都会で狭い住居、高い家賃を払いながら創作活動を行っているアーティストへ、もっと自由に創作活動ができる環境を提供しよう、そして、行政にとっては地方移住で人口減少のスピードを緩めることができる、また、アーティストとの交流を通じて若者に新しい教育のチャンスを提供することや、アーティストと共に考え魅力あるまちづくりを行っていこう、そんなことをやりたいと構想しています。会の名称を決めるときにも、喧々諤々みんなが意見を出し合いました。名称はARTS SHIKOKUになりました。ARTではなくARTSとなっているのは、芸術、美術というカテゴリーに縛られず、もっと広く捉えていこうと考えにたつてのことです。アートの語源はラテン語のアルスと言われていました。本来は技術や科学も含めた広範囲なことを指していました。マーシャルアーツやリベラルアーツ、アーティフィシャルインテリジェンスなど、その流れを示す言葉もあります。私は、子供達にSTEAM教育にふれる環境を提供したいと考えていました。その一端ができればと、胸を躍らせています。その活動拠点が必要だろうと、うちの倉庫の一棟を改装する予定です。完成したらマチラボと命名しようとワクワクしています。先日、その倉庫で行ったネットライブの様子です。



●士会だよりー徳島県●

建設現場に大きな変革をもたらすDX
(デジタル・トランスフォーメーション)

徳島県では、インフラ分野のDXの普及促進を目的として、「デジタル化推進に資する各種制度」や「DXの必要性と人材育成」について学ぶDX活用伝道トップセミナーを開催します。

- 1 開催日時 令和4年1月14日(金)
13時30分～15時30分
- 2 開催場所 徳島県建設センター7階 大会議室
(徳島市富田浜2-10)
- 3 開催内容 詳しくは県の電子入札HPから

●士会だよりー本部●

被災建築物応急危険度判定士
資格認定講習会の案内

新規に建築士会会員となられた方、判定士資格の更新忘れの会員、12月の講習会に都合で参加できなかった会員、などを対象としたR3年度最期の講習会を開催します。

いろいろな事情で、平成30年度に304名の判定士が、R3年度には181名へと激減しています。発災時初動に建築士が出勤して、避難所、住宅等の危険度判定を行い、余震による二次災害を防止する地域貢献のための必須の資格です。多くの方の参加を待ちます。建築士会本部まで、連絡してください。(担当：矢部洋二郎)

日 時：3月5日(土)、午前10時～12時30分
場 所：徳島県建設センター3F
(徳島市富田浜2-10)
連絡先：TEL：088-653-7570
mail：tokuarc-honb@diary.ocn.ne.jp

●士会だよりー川島地域会●

「カートレース」への誘い

建築士会チームでレンタルカートでのレースに参加しませんか。レースに向けての練習を月1回程度行っています。(主に週末金曜日の19時～21時)

目標は、4時間耐久レース 年2回程度

(場所：徳島カートランド)

初心者歓迎、興味のある方は士会事務局または川島地域会 竹内 (mog1106@yahoo.co.jp) まで。




※次回編集会議は令和4年1月24日(月)

編集後記

- ・毎年100通以上出していた年賀状を50通くらいに減らしました。(ノーリツ号)
- ・僕は書いてません(代筆) (ちりめん)
- ・どうしょー (ぺべい)
- ・わては書いてる (ひとはたうさぎ)
- ・今年から止めました (酎西)
- ・今年もよろしく！(代筆) (湊太郎)

建築士会本部行事案内

令和4年1月	令和4年2月
4日(火) 事務局仕事始め	9日(水) 建築相談 (士会会議室)
6日(木) 県庁挨拶回り(3会会長)	15日(水) 建築士定期講習 (建設センター)
12日(水) 建築相談 (士会会議室)	16日(木) 建築相談員会議(セピア) (士会会議室)
13日(木) 建築士定期講習(修了考査のみ) (士会会議室)	
18日(火) 監理技術者講習 (士会会議室)	
19日(水) 建築相談員会議(セピア) (士会会議室)	
26日(水) 建築相談 (士会会議室)	

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午後1時から午後4時まで実施しています。

※ 住宅相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時(相談時間は1時間以内)に実施しています(要予約)。